

# 日報調査 遠い幕引き

## 隠蔽否定の防衛省報告に批判

イラク日報の組織的な隠蔽を否定した防衛省の調査報告書について、24日の国会で、当時の稲田朋美防衛相の責任が問われないなど、調査のあり方を批判する声が相次いだ。専門家は調査態勢や公表の方法のまずさも指摘。幕引きとはほど遠い状況だ。

### 「大臣の指示 調査不十分」

#### 野党

「意図、動機に一言も触れていない。一体なぜか」  
24日の参院外交防衛委員会で、共産党の井上哲士氏は調査報告書の記述に疑問を投げかけた。日報の存在が1年も公表されなかったことについて、防衛省側は「特別の意図や動機は確認」

「されたため」などと答えたが、井上氏は「全く真相に切り込んでいない。派遣の実態を隠したかったのでは」という疑問は深まる。一方だ」と切り捨てた。

報告書は隠蔽を否定し、普段から課内の意思疎通が十分図られていなかった。その意思疎通が「な

#### イラク日報調査の主な問題点

防衛省が報道陣に配布したイラク日報に関する調査報告書

「イラク日報」に関する疑念を一掃する  
「イラク日報」に関する疑念を一掃する  
「イラク日報」に関する疑念を一掃する

内容	・稲田朋美防衛相に聴取せず ・稲田氏の「指示」が辰巳昌良・統幕総括官から誰に伝わったか不明 ・意思疎通をはからなかった動機や背景に踏み込まず（防衛は当時）
手法	・調査チーム内に処分者 ・第三者は補佐役のみ
公表の仕方	・証拠書類を示さず ・結果をホームページに掲載せず ・財務省の森友文書と同日に公表 野党議員や専門家の指摘から

### 「中立性疑問」「証拠示さず」

#### 専門家

「企業の報告書だったら最低ランクのF評価だ」。  
企業法務に詳しい久保利英明弁護士は、防衛省の報告書をこう切り捨てた。2014年に立ち上げた「第三者委員会報告書格付け委員会」の委員長を務め、これまでに耳目を集めた16件の

企業などの不祥事をめぐる報告書を検証してきた。最も問題視するのが中立性だ。「すべての不祥事での外目を入れるとは言わな

いが、今回は1年前に見つかっていた日報が出て来ないという組織的隠蔽が疑われた事態。国民の代表たる国会が結果的にだまされた。独立した第三者委員

会を作るべき事案だった」と指摘する。「秘密の多い自衛隊の性質もあるかもしれないが、イラク派遣はすでに終わったことだし、守秘義務を課せばすむことだ」  
省内の調査チームは、4月4日の立ち上げ時から批判を浴びた。大臣報告の遅れに関わった統幕総括官

がメンバーに入り、野党は「被疑者が入っているようなもの」と批判した。同日になって補佐役として元東京高検検事長の上田広一氏を招いたが、開いた会合34回のうち、上田氏が出席したのは6回だけだった。

久保利弁護士は、職員の間取り内容やメールの中身など、個別の証拠が示されていないのも「お粗末」と指摘する。いくら「エビデンス（証拠）の収集に力を入れた」（大野敬太郎政務官）と強調しても、「それが示されなければ結論が正しいのか判断できず、意味がない」からだ。

「一方で、稲田氏の「指示」を各部署に「つたない文面」で伝えた統合幕僚監部参事官付職員や、「指示」だと認識せず探索をしなかつた陸上自衛隊員を処分し、山崎幸二陸上幕僚長に就任前の問題の「監督責任」を負わせることで幕引きをはかった。

立憲民主党の牧山弘恵氏は小野寺氏と稲田氏について「何の処分もけじめも行っていないのはなぜか」と追及。国民民主党の藤田幸

任については「事務方による大臣の補佐が不十分だった」と述べるにとどめ、事務方の責任を強調する一方、自らの政治責任への言及は避けた。（藤原慎一）

## 「信頼回復に全力」

### 防衛相、日報問題を報告

小野寺五典防衛相は24日の参院外交防衛委員会で、防衛省が「ない」としてきたイラク派遣時の活動報告（日報）が自衛隊内で見つかった経緯を調べた調査チームの結果を報告。「防衛省・自衛隊に対する国民の信頼回復に全力を注ぐ」と語った。これに対し与野党から批判が相次いだ。

自民党の中西哲氏は「組織としてたるとるんではないかと言われても仕方のない状況だ」と苦言。公明党の杉久武氏は、処分者が事務次官ら17人に上ったことを踏まえ「実力組織としてあるまじき、恥すべき

結果であり、全く言語道断だ」と厳しく批判した。

立憲民主党の牧山弘恵氏は、昨年2月に日報の探索「指示」をした稲田朋美・

元防衛相や小野寺氏について「何の処分もけじめも行っていないのはなぜか」と問うたが、小野寺氏からは質問に対する明確な答弁はなかった。国民民主党の藤田幸久氏は「組織として開示できなかったのは、隠蔽があったといえるのではなか」と追及。小野寺氏は否定した。